



西小だより

組織目標

- 安全・安心を基盤とし、一人一人が認め合う共感的な人間関係づくり
- ICT を効果的に活用し、自分の思いや考えを広げ深めることができる授業づくり

HPアドレス <http://www.town.ibaraki-yachiyo.lg.jp/page/dir000006.html>

令和7年9月8日

第 5 号

西豊田小学校

八千代町太田 365 番地

2 学期がスタート、実り多き学期に!

44日間の夏休みが明け、2学期がスタートしました。子どもたちのたくさんの明るい笑顔で学校には活気が戻ってきました。夏休み中のさまざまな経験を経て、子どもたちは一回り大きく成長したように感じます。

夏休み中には、海外で発生した地震による津波やいくつかの台風接近など、多くの自然災害が心配されました。また、茨城県内では、全国のニュースとなるような事故や事件が発生し、安全・安心の確保がますます大きな課題となっています。子どもたちには引き続き「自分の命は自分で守る」意識の向上、「万が一の事態にどう行動するのか」を身に付けていきたいと考えています。

2学期には、校外学習、遠足、宿泊学習、修学旅行、走力記録会などたくさんの行事が予定されています。各行事を通して、子どもたちのどんな成長を促すのか、目標を明確にして、教職員一同一丸となって取り組んでいきます。

9月に入っても、高温の日が続くことが予想されます。学校でも民生委員の皆様や地域の皆様のご協力を得ながら、熱中症対策や交通安全の確保等に取り組んでいきます。ご家庭でも登下校の交通安全の確保や、日傘をさしたり、水分補給をしたりするようなお子様への声かけをお願いいたします。「早寝・早起き・朝ご飯」を推奨し、生活のリズムをいち早く整えて、実り多き学期にしていきたいと思ひます。2学期も保護者の皆様、地域の皆様からのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

西豊田小学校長 外山 薫

9月の行事予定		10月の行事予定	
1 月	2学期始業式	1 水	4年校外学習(笠間焼・県庁・県警)
3 水	2・6年身体測定 避難訓練(地震)	2 木	創立記念日
4 木	3年身体測定 いのちを学ぼうWeek(～9/12 防災)	3 金	第2回英語検定 6年出前授業(いのちの学習)
5 金	4・5年身体測定	6 月	委員会
8 月	1年身体測定 委員会	7 火	イングリッシュデー
9 火	オンライン英会話	9 木	スクールカウンセラー来校(1日)
11 木	検定テスト(漢字) スクールカウンセラー来校PM	10 金	1・2年遠足(宇都宮動物園)
12 金	3年食に関する指導 PTA読み聞かせ(3・4年)	11 土	地域コミュニティ防災行事～14:00(体育館)
13 土	合同奉仕作業(雨天順延)	13 月	スポーツの日
15 月	敬老の日	14 火	4年校外学習(エフピコ)
18 木	2年校外学習(結城駅・小山駅)	15 水	6年出前授業(金融教育) 検定テスト(漢字)
22 月	3年校外学習(カスミ)	16 木	6年校外学習(平沼遺跡・上高津貝塚)
23 火	振替休日	17 金	4年食に関する指導 2年校外学習(図書館)
24 水	検定テスト(計算)	22 水	6年認知症講座 移動博物館(～10/28)
25 木	6年修学旅行1日目	23 木	3・4年遠足(茨城空港・アクアワールド)
26 金	6年修学旅行2日目	27 月	クラブ
29 月	ヤマダイ出前授業(5年) クラブ	29 水	検定テスト(計算) 学校運営協議会(授業公開)
30 火	就学時健康診断		

7・8月の行事から

研修・訓練・環境整備



7月10日 刺股の使い方研修



7月10日 不審者対策の避難訓練



8月20日 心肺蘇生法研修(八千代消防署員による指導)



8月末～9月始め

学校運営協議会「ちよい抜き作戦」

立ち枯れになったままの校庭の草を何とかしようと学校運営協議会で「ちよい抜き作戦」を実行して下さっています。人知れずやってくさっているのので写真はありませんが抜いた草がたくさんありました。ありがとうございます。

職員もちよい抜き作戦に参加しました。



学校評価アンケート 1学期の結果

1学期末の児童・保護者の皆様によるアンケートをもとにした、学校評価結果です。保護者の皆様にはグーグルフォームによるアンケートへのご協力大変ありがとうございました。結果を真摯に受け止め、今後の学校運営の充実に向けて努めて参ります。

4段階評価 4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:全く当てはまらない

項目		児童平均値	保護者平均値
確かな学力	① 授業が楽しいですか	3.7	2.9
	② 授業の内容がよくわかりますか	3.6	2.7
	③ 進んで家庭学習を進めていますか	3.6	2.9
	④ タブレットやスマホ・ゲーム等のルールを守って使用していますか	3.7	2.9
豊かな心	⑤ 自ら進んで元気にあいさつをしていますか	3.7	3.2
	⑥ 思いやりの心を持ち、誰にでも「ありがとう」や「ごめんなさい」が言えますか	3.8	3.3
	⑦ 学校の友達と仲良く活動していますか	3.8	3.5
	⑧ 自分の夢や将来になりたい職業がありますか	3.6	2.9
	⑨ 学校に登校することを楽しみしていますか	3.8	3.2
健やかな体	⑩ 自分から進んで運動に取り組んでいますか	3.5	3.2
	⑪ 早寝・早起きをして規則正しい生活をしていますか	2.4	3.2
	⑫ 毎日、朝ご飯を食べていますか	3.8	3.8
	⑬ 交通ルールを守るなど、自分の命を守る行動をしていますか	3.8	3.4
地域とともにある学校づくり	⑭ 便りや週案、HPで学校の情報を確認していますか	3.5	3.5
	⑮ 地域での学習や交流活動に進んで取り組んでいますか	3.4	3.3
	⑯ 留守番電話やICT利用など、学校の働き方改革は進んでいますか		3.1

*保護者アンケート結果（記述）より

< 4段階評価から >

- 1 「確かな学力」（①～④の質問の内容）について、児童と保護者の平均値の差が大きいです。自分の考えを伝えるツールとしてICTを効果的に活用しながら、課題解決能力を育成できるよう校内研究で取り組んでいます。児童が学校での学習が楽しいと保護者の皆様に伝えられるように授業の工夫改善に努めてまいります。またご家庭での家庭学習やゲーム・スマホ等のルールの徹底などへのご協力を引き続きお願いいたします。
- 2 「豊かな心」（⑧の質問の内容）について児童と保護者の平均値の差が大きいです。夢や職業まではっきり決めている児童は多くはありませんが、将来の方向性を考えている児童はいます。体験活動や校外学習などで働く人々から様々なことを見聞する機会をもつことを大切にキャリア教育の充実に努めていきます。
- 3 「健やかな体」（⑩の質問の内容）について児童と保護者の平均値の差が大きいです。朝食・運動・睡眠等の習慣の大切さを継続的に指導していきます。

< 記述から >

【検討・要望】

- 4月のパトロールを急に振られても仕事の都合がつかないので、できればなくしてほしい。
→パトロールに関しては、地区委員長さんを中心に地区ごとに実施していますので、PTA役員とも話し合い、検討をしていきます。
- 朝の登校時に一人で歩いている低学年をたまに見かけるので、保護者に注意喚起してほしい。
→通学班や地区が分かれば、学校に知らせていただくとありがたいです。
- 外の男子トイレの個室の配管が水を流すと漏れます。
→教育委員会に伝えてあります。
- 初めての学校行事等、不明な点が多いが情報量が少ない。元々の地元でない人もいるのでより詳しく情報を知りたい。
→なるべく分かりやすく伝えられるよう努力していきます。それでも分かりづらかったり、不明な点があったりした場合には、学校までご連絡ください。学校全体の行事に関しては、教頭（教務主任）が窓口となります。
- 猛暑や急な雷雨になりそうなときは、車で迎えに行きたいのですが、学校でルールを整えていただくと助かります。
→猛暑につきましては、対応してきたやり方ですが、熱中症特別警戒アラート（WBGTが35以上）が発表された場合や急な雷雨は、引渡しになることが考えられます。引渡し時の車の流れにつきましては、北西門から入って正門に抜けていくやり方となります。マチコミメールで車の流れを指示いたします。

- 自ら考える力を付けてほしいとスローガンを掲げているのに、こうあるべきを強要しすぎる矛盾を感じます。

→強要することがよくない側面を挙げてみますと「子どもや教員自身の主体性や多様性を奪う」「『正解は一つ』という思考を植え付け、自由な発想や探究心を阻害する」「本人の特性を考えず『合理的配慮』がされていない状況となる」等が考えられます。これらの点については、私たち職員が常に肝に銘じて児童に対応していかねなければならないところです。朝の活動、授業、給食等、複数の教員目でクラスを見ていく時間があります。また管理職による授業参観があります。児童への対処について相談し合う場があります。それでも気になることがある場合には、学校にご連絡いただければ、対処していきます。

必要な場面につきましては、「安全・命に関わること（廊下を走らない・暴力等）」「社会生活に必要なルール（順番を守る・約束を守る等）」「学習の基本習慣（話を聞くときは相手の方を見る・準備物をそろえる等）」などがあり、明確な対応をしていくことが大切です。

- 学校内で教員が見ていないときに、他の児童に暴力を振るわれるようないじめがあった場合、学校はどのような対処をしますか。

→月ごとにアンケートを実施しています。情報が確認できた時には、関係した児童や周囲の児童に十分に話を聞き、対応しています。職員の人数は限られていますが、複数の目で見ていくようにしています。休み時間や昼休み等、校庭と教室に分かれて、児童を見ています。子どもからの訴えから分かることもあるので、よく話を聞きながら指導していきます。

- 先生の前でだけいい子でその子の言い分を鵜呑みにしてしまわないか不安である。うまく考えを伝えられないと損な子は先生に見抜く力がないと、とても辛い立場になる。そこを期待したい。

→「心の天気」、「学校生活アンケート」で子どもの声を聞いたり、担任以外にもその学年に関わりをもつことをしたりして様々な方法で児童の人間関係を見ています。トラブルがあった時は、一方の児童だけでなくもう一方の児童、周囲の児童、他の職員からも話を聞くことが鉄則です。学校の教育活動の中では自分の思いや考えを伝えられるよう指導していくことも大事にしています。気になることがある場合には学校にご相談いただくようお願いいたします。

- 働き方改革が教員の職業目線ではなく、児童を預かる教育者目線であってほしい。保護者も皆、残業しながら多忙な生活を子どものために頑張っています。

→働き方改革について一番は子どもたちのためにとという視点です。教員自身が心身ともに健康であることや学校外だからこそできる研修修養(外部研修・ニュース・読書・教材研究・振り返り等)に努める時間を作るよう勧めています。そこで得た知識や考え方を子どもに還元していくことが大切だと伝えていきます。